

6. マナー in the GAME

① オーバーキル

近年流行の“ハイサイクル銃”“超多弾数マガジン”の普及により“オーバーキル”が度々取沙汰されるようになってきました。(別に以前からもあったんですけどネ・・・)

オーバーキルの原因として考えられるのは、ヒットコールが聞き取りにくい、並びにジェスチャーが見つらいといった相手側の責任も一部にはあるのですが、耳元で電ガンが唸りをあげてはついつい撃ち続けることが多いみたいです。回りの味方でも敵でも構いませんから『あたってるヨー!!』とか『死んでるヨー!!』とか身近のゲーマーから声を掛けるようにつとめましょう。

そこで、最近ではフルオート銃でも“点射(指きり)”を推奨しています。でも、これは一朝一夕で出来るものではありませんので〔努力目標〕としてください。

② サブウェポン(サイドウェポン)の使用

運良くというか、匍匐前進の甲斐あってか、上手い具合に相手に接近出来、その距離がおおよそ5~8m以内であれば、“人に優しい”サブウェポンでゲットするように心掛けましょう。これも〔努力目標〕です。

これはメインウェポンの『如何(いかん)』に関わらず、“近接戦”用の装備として必ず携行するように努めてください。

③ ヒットされてセーフティゾーンにもどる時

ゴーグル、フェースガードは絶対にはずさないこと、ガンにはセーフティ(安全装置)を掛けること等の習慣を心掛けてください。

④ ガンの整備

ゲーム中に弾切れ、ガス切れ、バッテリー切れ等のないようにインターバルの間に確認をしてください。万一そうなったらハンドガンオンリーでガンバする、そしてそれもダメなら弾無しでも果敢に『フリーズ』にトライするか、最悪ゲーム終了までひたすら隠れ続けてください。これらの原因でセーフティゾーンに戻るのは好ましくありません。

⑤ ゲーム中の給弾及びバッテリー、ガン、マガジンの貸し借り

ゲームに持ち込めるBB弾はマガジン、給弾器内のものはもちろんBBボトルからの給弾も可です。

ガン、バッテリー、マガジンにつきましても、同一チームの“戦死していないもの”からの貸与はOKとします。

7. **ルール & マナー** in the SAFETY ZONE

① 試射 その1

ゲーム中の試射は試射レンジにても禁止です。

② 試射 その2

試射は決められた場所で、決められた方向に向けてお願いします。
(試射をする場所には用に応じて“初速計”を設置します)
試射レンジ以外での試射は、原則禁止です。

③ インターバル

次のゲームの為にガンのチェック、給弾、バッテリー、ガスの確認等の準備を行ってください。

もちろん、自分の体を休めるもよし、一服するもよし、特に夏場には十分な水分補給は欠かさないこと、はたまた冬場には“暖”をとることも必要かも、、です。

インターバルタイムはゲーム終了後おおよそ10分前後です。ゲームコンダクターが参加者の“顔色”(体調)を伺いながら、次のゲームの開始の指示を出します。

④ ゲームの不参加の表明

ガンその他のトラブルで次のゲームに参加できないゲーマーはその旨を速やかにゲームコンダクターに申し出てください。このゲ

ーマーの為にゲーム進行は中断しません。

(当然各チームに人数の差が生じますが、この為にその他の多くのゲーマーを待たせる様なことは出来る限りしたくはありません)又、疲労等の体調不良についても同様の扱いになります。

自分の体です、決して“無理”はしないでください。(ヤボですが、多少は無理をしないと上達しないかも、、)

⑤ 非戦闘時

“戦死”した時、セーフティゾーンでは、事故防止の為、銃からマガジンを抜き、セーフティ（安全装置）をかける、持ち歩く時、置く時には銃口を絶対に人や車の方向に向けないことを習慣づけましょう。

⑥ 飲酒

セーフティゾーン、ゲームフィールドいずれにても一切不可とし、発見次第退去していただきます。

⑦ 喫煙

セーフティゾーンでは可ですが、ゲームフィールド内は禁煙です。